

ルタスに代わる新ブランドとも言われているスズキのコンパクト・ミニバン。スクープ班がキャッチしたテストカーは、まさにラウムやキャバ、デミオなどの5ナンバーミニバンを意識したサイズだ。大きな感をゴマかすために擬装が施されていたので、それを取り除いてみたが、いかがだろうか。ミニバン、ワゴン、5ドアHBのどれにもあてはまらない微妙なサイズとフォルムを採用していることが改めて確認できるはずだ。残念ながら詳しいことは判明していないが、スクープカメラマンの証言によると左ハンドルと右ハンドルの両テストカーが確認できた、と

のこと。

開発当初は00年8月にデビューする予定だったが、何らかのトラブルに見舞われたのか、はたまた念入りに熟成を図っているのか、大幅にズレ込んでいる。しかし、テストカーの完成度の高さからいっても、それほど遠くないうちにデビューすることは間違いなさそうだ。

写真のテストカーのナマ写真をベースに完全なフルモデルチェンジを再現。つり上がったヘッドランプやサイドの広いガラス面積は、どこことなく新型シビックを連想させる。

スズキ新型ミニバン

013

カルタスに代わる
背高1.5ボックス発見!



CG.Jr

13 2001/1

月にはベルノ店のスペ
シャリティ・クーパー、
インテグラが一新され

4。今回のFMCでは4ドアが消滅し、
同時にひとクラス上のプレリウドも
吸収統合。そのためか、新型インテグ
ラはやや幅が広がって3ナンバーサ
イズになり、最大のライバルでもある
セリカと同じ土俵に立つ。

すでにスクープしたように、新型モ
デルは前後ともに丸目4灯ランプをモ
ノーフとしたデザインを展開。現行モ
デルのデビュー時を思い起こさせるマ
スクをふたたび採用し、今度はリアに
もそのテイストを流用する。おもしろ
いのは前後ともに丸目がバンパーに食
い込む点だ。オデッセイやHR-Vと
いったRVで連発してきた手法を、こ
の種のスペシャリティにも転用。

今回、新たにサイドビューの確定情
報を入手したので、さっそくイラスト
で再現した。流れるようなシルエッ
トラインには先代プレリウドに通じる
ものがあり、改めてインテグラとの統
一言車であることが訴求されている。ま
た、ヘッドランプの目尻は当初スクー
プした形状とは異なり、上方に切り上
がっていることが判明した。ちょうど、
セリカのそれに似たカタチだ。

シャシーにはシビックで初採用され
た「グローバル・コンパクトプラット
フォーム」が流用される。もちろん、
インテグラ用にサイズが変更された上
で。また、エンジンはK20A型2直
4i・VTECを中心に、廉価グレイ
ド用に小排気量ユニットもラインナッ
プされる模様。1月に品質確認が行わ
れ、3月の量産確認で最終のツメが行
われる。

012

ディンゴ改良

フロントマスク大幅手術で
万人ウケする表情をGET!!

ディンゴに横長ヘッドランプを
ハメ込んでみた。やや強引な感
じもするけど、より万人ウケす
るのは間違いない。なお、型式
認定の関係で発売時期は前後す
るかも。

斬

新たな造型と独特のマス
クを得て登場したディ
ンゴが大手術を受ける。

販売の現場からも「アクが強すぎて売
りづらい」との声が続出したことを受
け、メーカー側が検討した結果、より
スクエアなヘッドランプに変更され
ることになった。

右に掲載したのは予想CGだが、
実際にはもう少し正方形に近いラン
プ形状になるかもしれない。もちろ
ん、ヘッドランプと接するボンネッ
トフードやフェンダーパネル、バン
パーも新デザインに変えられる。

低価格モデルを充実させるため、
同時に1・3の「Bスタイル」に電
動格納式ドアミラーが新採用され、
ナビゲーションシステムもオプション
設定される。



CG.Jr

FMC後もピラー内蔵型コンビネーションランプが踏襲される。最新情報によると、リアガラスはルーフ側まで丸く回り込んでいるらしい。



い分けられる。

類が用意され、グレードに応じて使

る。また、サイドエアバッグや運転

席と助手席の間に設置される折りた

たみ式テーブル、ダイヤル式ヒータ

ーコントロールパネルなど、新アイ

テムも数多い。なお、シート表皮に

は黒っぽいものとベージュ色の2種

類が用意され、グレードに応じて使

大

ヒットとなったホンダの

1・5 ボックスミニバ

ン、ステップワゴンがF

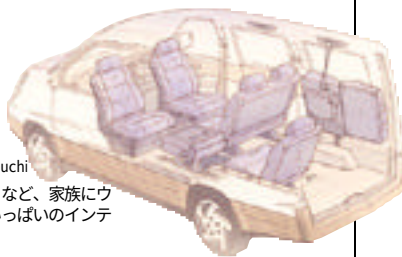
MCを経て2代目に移行する。基本

コンセプトは好評を博した現行モデ

015

より洗練されたフォルムで
大人気ミニバンの座を守

ステップ
ワゴン



Illust. K.Yamanouchi

回転対座シートなど、家族にウ
レシイ装備がいっぱいのインテ
リア。



モーターショー出品車以外に
3列シート車も確認した!

東

が本誌発売と前後して北米にて販売開始となる。国内でも追って発売されるはずだが、具体的な時期は判明していない。遅くとも01年4月にはデビューか？

千ターシヨで披露された2列シート5人乗りモデルのほかに、3列シートを備えたRV色の強い8人乗りモデルもラインナップされる。また、2列目にキヤブテンシートを標準装備した上級グレードが設定される可能性も高い。なお、搭載エンジンは2・5 V6と2直4の2種類で、どちらも現行エスクードから流用される。

最終テストに忙しいエスクードXLの生産試作車。左ハンドルのテストカー（写真上）には3列目シートも見える。

Photo.T,Kobayashi



国内でのテスト走行を目的としたアクシウムが上陸したのは9月下旬の話だった。

玉

0 1 7

国内テスト目撃談続出！ 輸入販売が実現するか!?

**アクション
スポーツワゴン**

国

内テストが始まったアクシウムに関する情報をお届けする。北米では1月のモーターショーに販販モデルが出品され、4月から販売が始まる。また、国内に投入される可能性も高まっており、もし実現すれば01年秋に登場するだろう。3・5 V6エンジンを搭載し、前後スライド可能な分割式2列目シートを採用。

0 1 9



高性能ターボエンジンも設定し、若者ウケを狙ったエクストレイルに直噴ディーゼル車が追加される。エンジンルームに収まるのはYD22DDT型2.2ディーゼルトーボで、直噴技術を生かした最新のパワーユニットだ。現在、1次生産試作を用いてのテストが行われている最中だ。ただ、残念ながら国内へは投入されず、輸出専用モデルとなる。

018

018 **bBスーパー**
チャージャー



「雰囲気は十分“ワル”なのに、走りがともなっていない」と、パワーアップを望む声が多いbB。

市

市

販化が決まる寸前で話が白紙に戻されたbBの1・8 モデル。消えた理由は①フロントヘビーになること、②自動車税がアップすることの2点だ。

代わって登場するのが同時開発されていた1:5 スーパーチャージャー仕様 既存の1NZ-FE型エンジンにスーパーチャージャーが加えられ、ワルな雰囲気に見合った刺激的な走りをもたらされるだろう。

